

第2回 防災・減災合同体験学習 安全点検マップ

○ 地域全体への意見 ○

- ・ 火を使う店舗・燃料タンクがある
- ・ 防災訓練時に集合場所の確認
- ・ 訓練に参加しない人への避難場所の周知
- ・ 近隣の繋がりや気づきが大切
- ・ 情報収集不足で戸惑いそうになる
- ・ 住人がいず、雪かきされない場所あり

○ 運沼仲町会から ○

- ・ 消火器・消火栓の位置を把握している
- ・ 公共施設が少ない
- ・ AEDが少ない
- ・ 町会全体的に道が狭い
- ・ 避難場所内部の段差が気になる
- ・ 避難場所のトイレの増設が必要

○ 運沼東町会から ○

- ・ 車いすには困難そうな段差がある
- ・ 室内のAEDが災害時使えるか心配
- ・ 消防署と協定を結んでいる店あり
- ・ 駐車場が多い
- ・ 消火器を見通しの良いところに
- ・ 町会の記念誌を活用すべき
- ・ 消火器が古そう

○ 清水陸町会および清水町会から ○

- ・ アパート・ワンルームマンションが多い
- ・ 交通量が多い
- ・ 看板の取り付けが弱い

○ 清水朝日町町会および稲付自治会から ○

- ・ 木造の空き家がある
- ・ 消火器が多い
- ・ 全体的に車いすでも通りやすかった
- ・ 避難場所の見直しが必要

○ 東京自由保育園から ○

- ・ 避難所の案内が見当たらない
- ・ 随所に消火器がある
- ・ 消火器が色褪せていて見つけにくい
- ・ 近所のお年寄りを確認しきれていない

○ 町会に属さない方から ○

- ・ 消火器が少ない
- ・ 学校への進入経路が多い
- ・ 親切な人が多い
- ・ 避難場所の入り口は全て開かれるのか
- ・ 広めの道路でも両側に電柱がある

○ 色の凡例 ○

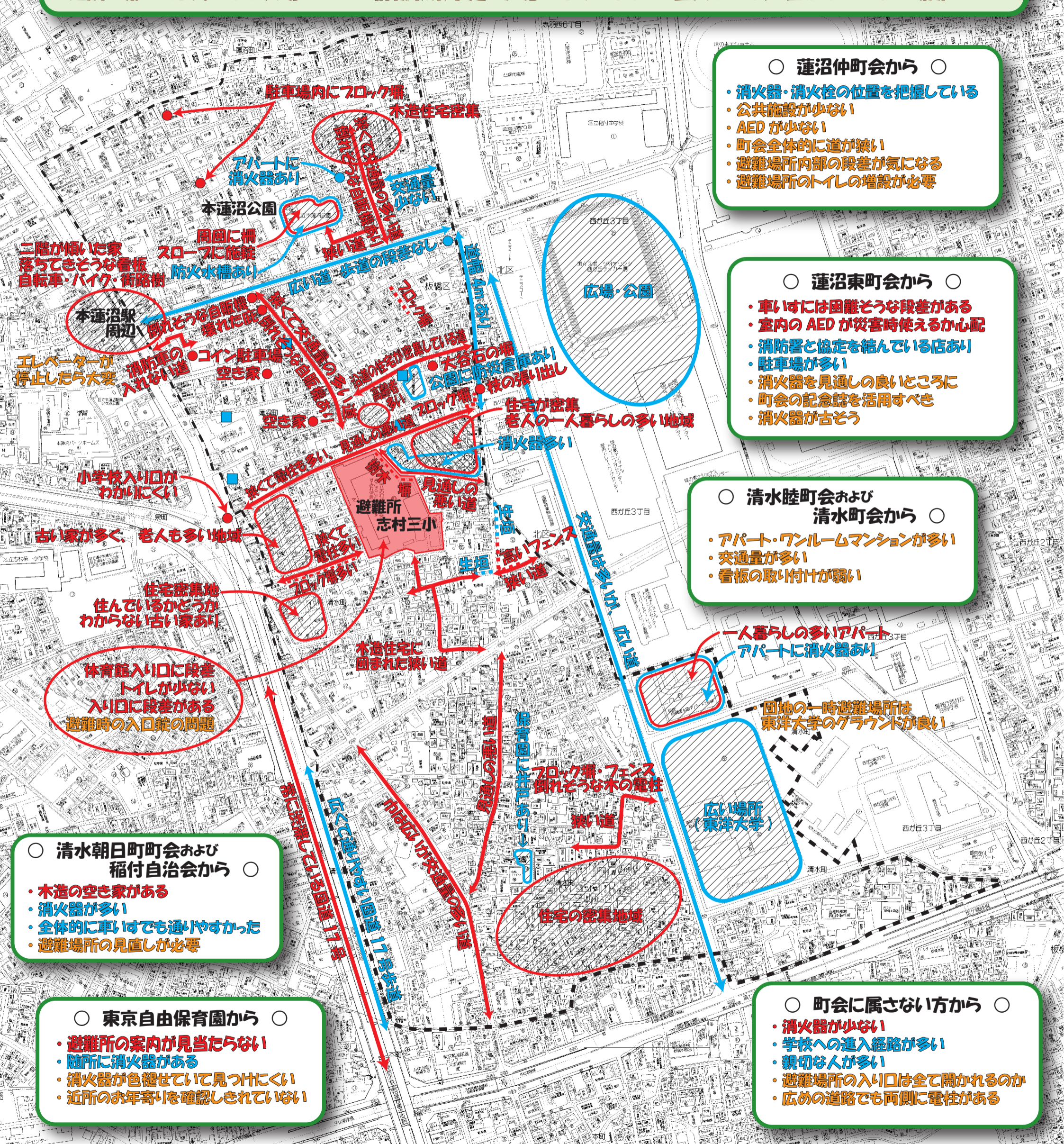
- 赤色：問題なところ
- 青色：良いところ
- 黄色：その他、気づいたこと

○ 記号の凡例 ○

- ：気が付いた消火器
- ：気が付いた消火栓

○ その他の凡例 ○

- ⇄：避難しにくく感じた道
- ⇄：避難しやすく感じた道



この先 考えていかなければならないこと・・・

よい安全な避難に向けて（地域の合意が必要）

避難にあたっては、初期消火、要援護者支援などできることがあります。以下のチェック項目を参考にして下さい。

初期消火チェック 日頃から確認しておきましょう！

- 自身の身の安全、家族の安否確認
- 自宅の火の始末（主電源・ガスの元栓）
- 自宅の消火器
- 街頭消火器
- 自宅の戸締まり確認
- その他（ ）

要援護者支援チェック あわてず確認してください！

- 呼び出しから応答までどの程度時間が必要かの確認
- 必要な支援リスト・支援手順を記した書類の常備
- 車いす、白杖、携帯電話・薬等を出しやすい位置に常備
- 部屋から外に出るまでのバリア（扉の開閉、段差等）の解消
- 救助済みの目印
- その他（ ）

要援護者の避難に必要なものを記入

- ・必要な資機材：杖、白杖、車いす等…
- ・携帯・携行するもの：薬、電話、ボード等…
- ・資機材等の置き場所：ベッド脇、玄関脇等…

避難経路チェック 安全なルートを確認！

- 災害時にも通行可能な道の確保（2方向以上）
- 自動車、バイク、自転車等の通過交通の排除
- 路上駐車・駐輪の排除
- 階段、不必要な段差等のバリアフリー化
- 前方、行き先きの見通しの確保
- 避難所の案内、誘導ブロック等のサイン案内
- 倒れそうな看板、ブロック塀、家屋等の改善
- その他（ ）

※すぐにはできないことも多いので、まずは、主要なルートの安全性を確保。

色の凡例

- 一時集合場所
- 避難所（志村第三小学校）
- 避難場所

避難ルートの凡例

- 避難に確保したいルート

